

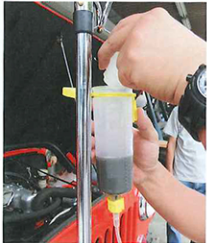
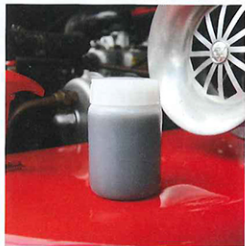
Choice of Vintagecar Specialist.

ヴィンテージカー スペシャリストが 注目する進化剤とは？



ミリタリージープをはじめ、古今東西のヴィンテージマシンに造詣の深い、ご存知オートジャンクション代表の安井一郎さんが信頼を寄せているという、『進化剤』なるメタルリペアを目的とした製品をご紹介します。

「一般に添加剤と呼ばれる、オイルに添加して使うケミカル類はいろいろ試してみましたが、効果がわかりやすく体感できるという意味で、これはいいと思いますね。」と安井さんが紹介してくれたのが、『進化剤』と呼ばれる商品だ。「環境負荷のからない特殊ミネラル化合物をナノ単位に粉碎した粒子を、少量の低粘度オイルとともにエンジンに注入。エンジン内の金属同士の摩擦面を改質、摩擦の低減はもちろん、古いエンジンの表面にできたキズなども補修、さらには耐久性を向上させる金属表面改質剤なんです。」と説明してくれたのは、今回施工を突演してくれた、進化剤のディストリビューター、フィールカインドの井上雅史さんだ。安井さんにその評価を聞いてみると、「愛車の81年型レンジローバーは長年所有しながら、ほとんど走らせていなかった。復活させても調子が出なかったので、施工してみたら音が変わった。中低速域での変化はもちろん、高速でのスムーズさにも驚きました。大当たりでしたね！体感して気に入って、オートジャンクションでも5年ほど前から使っています。私のビンツァウアー（70年代のオーストリア製小型軍用車）やフォーグリフトにも施工しました。」お薦めしたお客様たちからも好評とのこと。ご興味のわいた読者はオートジャンクションにお問合せを！



今回『進化剤』を施工したのはご存知「じぶた」。アイドル状態の4気筒OHV 2.2リッターエンジンのオイルゲージを抜いて、100ccの進化剤を点滴のように15分以上かけ注入。その後も15分以上アイドル、様子をみながらブリッピング。メカニカルノイズの明確な減少が確認できた。耐久性と信頼性を重視する船舶や貨物トラックの現場でもユーザーが増えつつあるという。